

参画と協働施策の概要

1 実施の状況

参画と協働の取り組みが一層進むよう、522に及ぶ施策・事業（うち新規38）に取り組みました。

項目	施策数	項目	施策数
(1)地域づくり活動の支援に関する施策	327	(2)県行政への参画と協働を推進する施策	182
①新たな活動を生み、育む	131	①県民と情報を共有する	30
■多様な情報を使いやすく提供	16	■県民が主体的に選択できる情報を迅速に提供	17
■地域に潜在する多様な人材の参画・協働を推進	69	■県行政の評価・検証への県民参画の推進	13
■実践活動につながる学習機会の充実	46	②県民と知恵を出し合う	22
②活動を高め、支える	56	■県民の提案を具体的な取り組みにつなげる	14
■主体的、継続的な活動につながる支援	32	■審議会などへの県民の参画機会を拡げる	8
■既存施設を活用した身近な活動の場づくりを支援	13	③県民と力を合わせる	130
■自立的な財政基盤の充実に支援	11	■県民の主体性を生かし、多様な協働を展開	107
③活動をつなぎ、拡げる	140	■公民協働での取り組みを拡充	14
■人や活動をつなぐ	32	■推進員など多様な主体の連携を支援	9
■地域の取り組みを柔軟に支援	94	(3)参画と協働の推進に向けての施策	13
■中間支援機能を持つ組織・団体を支援	9	■職員意識の醸成	4
■各地域での総合的な支援拠点機能の充実	5	■市町と連携を深めながら、全庁一体となった推進体制の整備	9
		合計	522

2 主な特徴

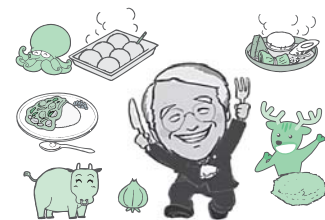
●地域間交流を通じた地域づくり活動の推進

交流による地域の活性化をめざした事業で工夫をこらした多様な手法とさまざまな主体による連携の拡がりが見られました。

事業例

兵庫県ご当地グルメによる地域おこし —美しく・楽しく・地域を元気に!—

地元産の食材を活用して地域で親しまれている料理（ホルモン焼きうどん、鹿コロッケ、おでん、かつめし、玉子焼き、ほっかけカレー等）の発掘・開発、情報発信、交流等を通じた地域おこしを展開



まち・むらNPO連携事業

北播磨地域では地域の活力を創出するため、都市と農村双方のNPOの連携により常設の交流拠点の開設、事業者や商店街、大学等が連携した特産品の販売・PR、観光情報の発信、農家の女性たちのグループによる手作り加工品の販売や交流イベントを開催



小規模集落元気作戦の展開

人口減少と高齢化が進んだ小規模な集落を対象に市町と連携し、集落再生に向けた地元住民の主体的な取り組み（集落懇談会、特産品開発等）への支援や、都市住民との相互交流会等を通じた地域の活性化を推進



●家庭・地域の力を合わせた取り組みの推進

子育て、教育、環境、集落づくりなど地域が抱える社会的課題について、リーダーやアドバイザー等を仲介役に地域全体での取り組みが進みました。

事業例

ひょうご家庭応援県民運動

地域全体で多世代が交じり合い、共に支え合う『地域三世代同居』の実現をめざし、親学習プログラムの開発・普及を進めるとともに、「ひょうごおやじネットワーク」等の活動を支援



子育て応援ネットの推進

地域の女性団体等がネットワークを組み、子育てイベントなどの子育て支援活動を行うとともに、見守り、声かけなどに取り組み、その中でキャッチしたSOSを専門機関につなぐ活動を推進



ひょうごの環境学習・教育の総合的推進

ひょうごグリーンサポーターやコーディネーターとの協働により、幼児からシニアまでの各ライフスタイルに合わせて体験を基本とする体系的なプログラムによる環境学習を展開



●地域資源を生かした多彩で柔軟な事業の展開

地域住民等が広く参画・協働して、地域固有の資源を生かした特色のある取り組みが進みました。

事業例

水を守る環境保全活動の推進

地域の川を愛する住民等がクラブを設立し、河川環境等を学びながら川を守り育てる「明石川タコピー倶楽部」の活動など、住民による地域の水環境を守るさまざまな活動の展開



北摂・里山博物館プロジェクトの実施

北摂地域の里山林を「北摂・里山博物館」と見立て、住民の自主的な企画運営による里山まつりの開催や、ボランティア団体に委託した小中学生の森林ボランティア活動の推進等を通じ、県民への情報発信と里山体験の場を提供



あわじ菜の花エコプロジェクト推進事業

地域一体となって、休耕田等に菜の花を栽培して菜種油を精製し、特産品とするとともに、廃食油を一般家庭から回収してバイオ・ディーゼル燃料に再生利用し、資源循環型社会の実現をめざす



3 主要な参画と協働関連施策の6カ年の状況

参画と協働関連施策のうち、「地域づくり活動支援指針」「県行政参画・協働推進計画」の展開方向の柱から代表的な施策をとりあげ、参画と協働の手法を活用したことによる平成15年度から20年度までの成果やその要因をまとめました。

新たな活動を生み、育む

活動へのきっかけづくりや必要な能力向上の機会充実等を通じて、活動を支援

施策例

「子どもの冒険ひろば」事業

子どもたちが自然素材を使った遊びを通してたくましく生きる力を育めるよう、自由にのびのびと遊べる場所づくりに取り組む団体等への運営費の助成や、子どもの遊びを見守るプレイリーダーの研修を行う。

参画と協働による成果

- ・自主的な活動として地域に定着 目標開設数(県内全中学校区360カ所)を平成19年度に達成

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20
ひろばの開設数*	64	141	211	295	418	428
参加者数(人)	22,279	46,786	62,979	68,505	90,012	95,526

*常設ひろば(広域ひろば)と出前ひろば(地域ひろば)の開設累積数



成果を生んだ主な要因

- ・地域の実態を十分に把握したうえで、ノウハウを持つ青少年団体等の運営を県が側面支援
- ・地域で冒険ひろばを主催する人材やプレイリーダーなど運営の核となる人材の養成
- ・初期段階では、モデルとなる事例の紹介など積極的な情報提供
- ・地域内の関係団体のネットワーク化の推進

活動を高め、支える

活動の積極的な展開や質的向上を支える

施策例

生涯学習ボランティア活動支援 ・推進事業の実施

博物館等でのボランティア活動の拠点となる生涯学習博物館ボランティアセンターを開設し、情報提供・相談を行うとともに、各種セミナーの実施など、ボランティアを養成する。

参画と協働による成果

- ・ボランティア活動数の増加
- ・博物館等の事業を支える活動として定着

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20
ボランティア登録者数	708	627	877	854	1,352	1,323
ボランティア派遣・活動数	5,392	6,660	6,652	5,149	11,631	17,212

(単位:人)



成果を生んだ主な要因

- ・ボランティア活動の実践の場の確保
[参加体験型博物館の開館などを機に活躍の場を拡大]
- ・高い専門性を培う研修内容の充実
- ・具体的な相談業務の実施(活動の日程・内容・手法など)

活動をつなぎ、広げる

さまざまな主体をつなぎネットワークづくりを通じて、活動の広がりを支援

施策例

いなみのため池ミュージアムを核とした 新たな水辺の地域づくり

ため池とそれを結ぶ水路は、東播磨を特徴づける貴重な水辺空間である。地域みんなで力を合わせ、ため池を核として地域全体が“まるごと博物館”となる魅力あふれる地域づくりをめざす。

参画と協働による成果

- ・参画団体、支援団体の増加
- ・地域活動の実施数の増加
- ・実施区域の拡大(当初)東播磨 →(現在)東播磨、北播磨、神戸、丹波

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20
ため池協議会の設置数	11	30	43	58	74*	80*
連携・支援団体数	16	20	32	36	43	47
水辺イベントの開催数	68回	100回	252回	120回	132回	166回
参加者数(人)	約1万	約1万	約35万	約8万	約9万	約10万

*平成19年度からは、いなみ野ため池ミュージアム運営協議会の加入団体数(単位:人)



■成果を生んだ主な要因

- ・広報の徹底 [・地元の会合等あらゆる機会をとらえ広報活動を実施]
- ・事業の目的や地域の活動情報等をインターネット、新聞、ラジオを使って広報]
- ・恒常的な地域活動の実施と新たな活動の企画・展開の組み合わせによる連携団体の拡大
- ・“水”をキーワードに他地域(神戸・北播磨・丹波)と連携した取り組みの推進

県民と知恵を出し合う

政策形成段階から県民の意見を反映し、
県民の主体的な選択を尊重した施策等の実施

施策例

河川整備基本方針・河川整備計画の策定

河川法に基づき、河川整備の基本計画である「河川整備基本方針」と「河川整備計画」を策定する。

■参画と協働による成果

- ・流域委員会等への流域住民の積極的な参画
- ・住民意見を反映した河川整備基本方針・河川整備計画の策定

年 度		H15	H16	H17	H18	H19	H20
流域 委員会等	委員会数	11	10	15	9	8	7
	委員会開催数(回)	35	31	66	25	23	12
	流域住民委員数(人)	89	92	78	70	71	52
県民意見 提出手続	実施案件数	5	16	6	1	4	4
	平均意見数(1案件当たり)	157*	9	15	27	290**	8

*野田川水系河川整備計画案の意見数689件によるところが大きい
**武庫川水系河川整備基本方針案の意見数1,136件によるところが大きい



■成果を生んだ主な要因

- ・流域委員会等の公開による積極的な情報提供
- ・水系ごとの流域委員会等での流域住民を交えた積極的な意見交換

県民と力を合わせる

地域を構成する多様な団体等との連携を
図り、公民協働に基づく政策を多彩に展開

施策例

まちの保健室推進事業

行政と兵庫県看護協会が連携し、復興公営住宅、公共施設、スーパー、郵便局、道の駅等で健康相談や育児相談を実施。また、高齢世帯生活援助員らとキャラバン隊として閉じこもりがちな高齢者への訪問活動を実施。

■参画と協働による成果

- ・身近で気軽に看護師等に相談できる機会があることで、高齢者の閉じこもりや生活習慣病の予防、子育て支援等で事業効果が向上
- ・相談の機会づくりが地域組織・関係機関との連携の強化やコミュニティづくりに寄与
- ・健康支援のしくみとして地域に定着

年 度	H15	H16	H17	H18	H19	H20
ボランティア参加者数	1,485	3,950	3,218	5,129	4,509	4,753
来所者数	5,832	38,718	41,784	44,699	37,366	38,756
訪問数	386	601	307	220	194	229
研修参加者数	270	287	113	120	83	93



■成果を生んだ主な要因

- ・身近で気軽に看護ボランティアに相談できる機会の創出
 - ・事業対象の拡大
(当初)高齢者・子育て中の親→精神障害や思春期のこころの問題など健康づくり全般へ
 - ・地域組織(自治会、子育てグループ等)や関係機関との連携の推進
 - ・県内看護系大学との連携による人材の確保
 - ・他の事業と連携した事業展開
- [・まちの子育て広場事業との連携による育児相談、育児指導の実施]
[・高齢者自立支援ひろば事業との連携による高齢者の見守りと自立支援]

4 ひょうごボランティアプラザの活動状況

ボランティア活動の全県的支援ネットワーク拠点として、平成14年6月に開設し、県民の自発的で自立的なボランティア活動を支援・促進しています。

[機能:①交流・ネットワーク ②情報提供・相談 ③活動資金支援 ④人材養成 ⑤調査研究]

主な事業内容

NPOと行政の協働会議

～多様な主体との協働で地域課題解決をめざす～

NPOや地域団体、行政等の多様な主体が一体となって地域課題の解決に向けた協議、情報交換等を行っています。

■20年度の取り組み

「NPOへの委託事業Q&A」の作成とネット配信

地域における多様な主体のつながりを進めるフォーラムの開催

(平成20年11月 芦屋市)

NPO法人情報公開推進に向けた取り組み



地域づくり活動情報システム「コラボネット」

～地域づくりのタイムリーな情報を発信する～

子育てや高齢者支援、まちづくりなどの様々な活動を行う団体が、自ら情報や活動内容を発信するとともに他の団体や活動の情報にすばやくアクセスできるシステムを運用しています。

○登録数累計

区分	H17	H18	H19	H20
団体登録数	3,940	4,506	4,799	5,088
活動登録数	3,126	4,182	4,957	5,752
計	7,066	8,688	9,736	10,840



ひょうごボランティア基金事業の展開

～多様なニーズに対応した支援を展開する～

ボランティアグループ、団体等による草の根の活動からNPOによる中間支援活動まで、多様な活動内容に対応したきめ細かな助成事業を展開しています。

○助成実績

区分	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
件数(件)	1,014	1,004	1,030	2,693	3,007	3,207	3,366
金額(千円)	38,080	35,778	34,286	101,548	117,408	128,227	129,839



*お問い合わせは



ひょうごボランティアプラザ

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3

神戸クリスタルタワー6階

TEL:078-360-8845 FAX:078-360-8848

URL: <http://www.hyogo-vplaza.jp/>